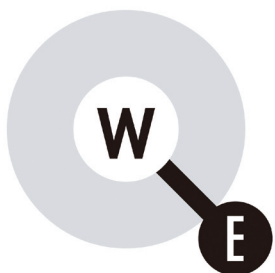


◆東西線開業イベント

11月22日(日)から



12月6日(日)に開業する仙台市地下鉄東西線。開業前から開業後まで各駅や沿線地域を中心に、まちを挙げてさまざまなイ

ベントが行われる。11月22日(日)には「WE STAGE (ウェイ・ステージ)」と題し、八木山動物公園駅から荒井駅まで市民記者を乗せた東西線車両が特別運行。東西線13駅ホーム、車両内、地上駅で行われるさまざまなパフォーマンスの様子をホームページなどで公開する。その他、試乗会なども予定。詳細は問い合わせを。

問/WEプロジェクト実行委員会事務局
TEL022-302-6590
http://we-sendai.jp

◆仙台・杜の都のクラフトフェア2015

10月2日(金)11:00~19:00
3日(土)10:00~17:00



仙台市中心部のアーケード商店街を会場にした

手作り工芸品の展示販売会。開催6回目は過去最多の出品数。県内外から63の作家や工房が集まり、陶器や革、織物、木工、ガラスなど、多彩なジャンルの作品を販売する。生活に彩りを加えてくれる作品は個性的で、手作りならではの魅力たっぷり。手に取って質感などを確かめて選んでみては。店頭立つ出品者との交流も楽しみの一つだ。

会場/サンモール一番町商店街
(仙台市青葉区一番町)
問/黒須
TEL080-3142-2371

◆阿武隈ライン舟下りいも煮舟

11月30日(日)まで

阿武隈川の約4キロを1時間ほどかけて往復する「阿武隈ライン舟下り」に、期間限定で「いも煮舟」が登場している。船上から里山の秋景色を眺め、おにぎり、みそ仕立ての芋煮汁が味わえる。料金は大人2000円、小学生1400円。出航時間は午前10時、11時半、午後1時、2時半。土・日曜、祝日は増便がある。3名以上で、希望日の3日前までに予約を。



乗り場/丸森町字下滝12
問/TEL0224-72-2350

人は何を記憶し、何を忘れるのか
今回は「記憶」に関する映画です。
脳の海馬という場所に蓄えられた記憶は思い出すたびに定着し保存され「思い出」として生きる力となります。高齢になるほど記憶は保存しにくくなり、定着する度合いも低くなりますが、記憶力は年齢に関係なく脳を使うことで訓練できます。読者の皆さまもこれを読んで、記憶力を高めてください。

将校(ロナルド・コールマン)がいました。街に迷い出て出会った踊り子のポーラと愛し合うようになり、自分がどこの誰とも思われないまま結婚します。子どもが生まれ、幸せな日々の中、たまたま投稿した文章が認められてリハビリの新聞社から契約作家締結の話が提起され、出掛け先で自動車事故に遭います。その事故で入院以前の記憶が戻り、代わりに記憶を失っていた間の記憶を全く失ってしまうミス。大富豪の次男チャールズ・レイナーとして事業継承の記事が新聞に写真入りで掲載され、それを見たポーラは秘書に応募します。

そこから失われた3年間の記憶を取り戻す、二人の物語です。出来過ぎのメロドラマですが、面白い。
明日の記憶
(2005年/堤幸彦監督)
渡辺謙と樋口可南子主演の、若年性アルツハイマー病を描いた映画。広告代理店勤務、働き盛りのサラリーマン佐伯雅行49歳。仕事も充実し一人娘の結婚を控え、公私ともに忙しくも幸せな日々を送っていました。が、急に同僚の名前が出てこなくなったり通勤で道に迷ったり...。不安で病院を訪れ、下された診断は「若年性アルツハイマー」。やり場のない怒りと不安にさいなまれる佐伯。しかしそんな夫を妻の枝実子は静かに受け止め、二人で一緒に病と闘い続けようと覚悟を決めます。見ていて二人の不安と焦りが身につまされ、胸が苦しくなります。明日はわが身かもしれない、という不安を感じ「夫婦のつながりとは何か」とか「家族とは何か」とか、とても考えさせられます。そして、今の自分がたくさんの人々に支えられて生きていくのだということも深く感じさせられます。

自分が自分でなくなるという恐ろしさは苦しい。それを支え続ける妻の存在すら忘れてしまうラストの映像は衝撃的です。ぜひ見ていただきたい映画です。

●心の旅路 特別版
販売/発売元/ワーナー・ブラザース・ホームエンターテイメント
DVD 3790円(税抜き) 発売中



●明日の記憶
発売元/東映ビデオ
販売元/東映
DVD3800円(税抜き) 発売中



丹野 六右衛門/塩釜市在住、69歳。映画サークル「遊々シアターフレンズ」代表